

新実祥悟のマイ・レボリューション 第47号



●国道23号進捗状況

国道23号バイパス蒲郡区間は平成19年4月、国によって事業化されました。

平成26年3月には芦谷インターチェンジから蒲郡インターチェンジまでの西区间が開通しました。

現在は豊川為当インターチェンジまでの東区間の工事を進めています。

今回は平成30年11月の視察状況を報告します。

写真①から⑥は地図上の①から⑥のものです。

写真①は蒲郡インターチェンジ終端の橋脚です。

写真②はそこから東を見たものです。

写真③は五井トンネルを東から見たところです。

写真④は国坂トンネルを西から見たところです。

写真⑤は国坂トンネルを東から見たところです。

写真⑥は国坂トンネルから豊川御津方面を見たところです。

この区間のトンネルは全て貫通しており、工事用車両で通り抜けることができます。

用地買収率は98%です。で、全線開通は今一歩と言えます。

●平成30年12月議会

- 1 蒲郡市下水道事業を企業会計に移行
- 2 児童発達支援センター「にこりん」設置(保健医療センター内)
- 3 子育て世代包括支援センター「うみのこ」設置(保健医療センター内)
- 4 市民会館指定管理者

ピアンドピーグルー  
プ(豊川市)

5 市民体育館指定管理者株式会社河合楽器製作所(浜松市)

6 蒲郡警察署建設(県事業) 6階建 約10億円(平成32年3月完成)

7 柏原企業用地の売却先プロポーザルにて3月に決定

8 市民病院にニデックの協力のもとアイ・セン

9 補正予算  
ター(眼科)設置

(1) 市制65周年記念コンサート準備  
184千円

(2) 三河大島海の家解体  
8800万円

(3) ダイアモンドプリンセス受入負担金  
300万円

(4) 小・中学校ブロック  
塀撤去事業費  
1650万円(付直)

(5) 普通教室空調設備設置工事費(全学年)  
9億8200万円

(6) 竹谷運動広場新設  
3000万円

10 内部案件

\*都市開発部: 柏原企業用地は来年3月にはプロポーザル方式(入札の一種)にて誘致企業を決定する。

\*産業環境部: 西迫ほ場整備は工区のお知恵をお借りして事業推進中。

\*建設部: 拾石町塩浜1号線の舗装整備延伸(12月14日から)

●総務部: 防災ラジオは来年度補助配布の可能性大。ただし難聴地域解消目的で280MHzポケベル用

の周波数帯のため、原価1万5千円の物になるため1千円ではない。

●都市開発部：立地適正化計画（案）について、鹿島町南部常会は居住誘導区域および都市機能誘導区域の両方に指定される。拾石町の名鉄線路南、竹谷町区も同様。計画期間は20年間（2040年まで）。

10 本会議にて  
●建設部長：鹿島町のクラスポから宮ノ要信号交差点までの道路建設について、平成29年に地元総代から要望が出されたことを受け、カインズークラスポ間の寄付道路と信号交差点建設の後、次のステップとして建設に向け

地元住民の意見を伺いながら詳細を検討する。

●総務部長：予算配分は一件一査定。

●建設部長：竹谷町区の下水道敷設は来年度（平成31年度）から工事にかかると。現在は設計準備中。

●総務部長：拾石町の避難訓練は本市の手本となっている。今後も継続されることを期待する。

●市民病院事務長：里帰り出産は全員受入可能。

○一般質問

1 蒲郡市の外国人対応  
問 外国人人口の推移についてうかがう

答 平成30年12月現在で約3千人です。5年間で千人増えました。  
問 転入当初の対応はいか

が

答 転入してきた外国人は日本人と同様に対応しますが、必要に応じて通訳を付けます。

問 教育現場での対応は

答 平成29年度に初期日本語指導教室「きぼう」を設置しました。入学後は日本語教育担当者による日本語教育や語学相談員の配置をし、中学校を卒業後の進路を考える会を開催しています。

問 国民健康保険や国民年金の状況はどうか

答 本市では外国人による不正受給はありません。改正内容について国や県から通知等は来ていません。外国人の手続きに1、2時間かかることもあります。専用窓口設置について、調査

研究します。

問 社会生活における情報提供等はしているか

答 「広報がまごおり」の英語版を5月号より配布しています。「蒲郡市ハザードマップ」を5カ国語に翻訳し、市内在住外国人に郵送しました。「ごみの出し方説明」は転入当初に窓口で渡しています。重要書類の郵便物は外国語で中身が分かるように表示しています。

問 地域社会の受け入れ状況をうかがう

答 国際交流協会では塩津、蒲郡、大塚の3カ所で日本語教室を行っています。厚生労働省による実践日本語教室が開校されました。民間団体が技能実習生にごみの出し方講座を行っています。

問 国・県から蒲郡市への支援の状況は

答 県国際交流協会から市国際交流協会に 27 万円の助成がありました。関係各所に要望を検討します。外国人窓口については研究します。

2 蒲郡市の下水道

問 現在の敷設状況についてうかがう

答 下水道普及率は 62.8%です。

問 敷設範囲をうかがう

答 市街化区域の三谷町、豊岡町、平田町、清田町、竹谷町、鹿島町、金平町、形原町、西浦町です。

問 計画期間はいつまでか

答 平成 37 年度までです。

問 説明会の状況はどうか

答 受益者負担の説明は豊

岡第 2、平田、清田で行いました。その他は順次行います。

問 今後の工事エリアはどこか

答 31 年度から三谷町、豊岡町、竹谷町区で工事を進めます。現地測量、各戸訪問、回覧を地元に行います。

問 事業の今後の在り方は

答 下水道事業も公営事業会計に移行し、安定した市民サービスに努めます。